

科目名	卒業研究 Graduation Research	科目コード	51110
-----	-----------------------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	環境都市工学科全教員
区分・単位数	履修単位科目・必修・10単位
開講時期・時間数	通年，300時間【内訳：その他300】
教科書	
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

入学以来の学習の総括として、学生が個々にテーマを選定し、教員の指導と助言のもとで研究する。研究活動を通じて、分析力・思考力・表現力など、技術者としての活動に必要な能力を養う。

○関連する科目：環境都市工学概論（前年度履修），環境都市工学演習（2）（前年度履修）
環境都市工学実験（2）（本科5年前期履修），
科学技術英語（本科5年後期履修），環境都市工学特別研究（次年度履修），
企業実習Ⅰ（前年度履修），企業実習Ⅱ（前年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B), (D), (E), (F), (G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①研究テーマについて必要な情報や資料を収集して整理する能力を修得する	40%	(b1,d2,e1,g1)
②研究目標を設定し、計画を立て、実験や調査を実施する方策を修得する	40%	(d2,e2,f2,g2)
③研究内容を分かりやすくまとめ、文章化し、プレゼンテーションを行う技術を習得する	20%	(b2)

【C. 履修上の注意】

自らが進んで行動し、学習する態度が必要である。また、卒研の発表はプレゼンテーションを行う貴重な経験である。研究を押し進めることはもちろんのこと、自分の行った研究を理解することも大切な能力である。卒研発表会で優秀な発表を行った学生を表彰する。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（卒業研究の取り組み姿勢と卒業論文の内容（指導教員70%））
- その他（卒業研究中間発表会でのプレゼン10%、卒業研究発表会でのプレゼン20%）

【E. 授業計画・内容】

●通年

卒業研究は、指導教員の指導のもとに研究室単位で実施する。評価は、卒業研究発表会の概要、卒業論文の内容を踏まえ、到達目標を考慮して指導教員がおこなう（70%）。さらに、11月に実施する卒業研究中間発表会において参加者全員（全教職員、4、5年生、専攻科生）でプレゼンテーションについて評価する（10%）。また、2月に実施する卒業研究発表会においても参加者全員（同上）でプレゼンテーションについて評価する(20%)。